

平成 30 年度 児童生徒の問題行動・不登校等の状況について〈概要版〉(報告)

※括弧内は平成 29 年度の数値

1. 暴力行為について

(1) 暴力行為の発生件数

	神戸市の発生件数	1,000 人あたりの発生件数			
		神戸市	全国	兵庫県	指定都市
小学校	404 (358)	5.3 (4.7)	5.7 (4.4)	3.1 (2.7)	—
中学校	480 (610)	14.0 (17.3)	9.3 (8.9)	7.4 (7.6)	—
高等学校	18 (14)	2.9 (2.2)	2.2 (1.9)	2.5 (1.8)	—
合計	902 (982)	7.7 (8.4)	5.9 (5.1)	4.1 (3.8)	8.1 (7.0)

(2) 暴力行為の内訳で最も多いもの

項目	神戸市	全国	兵庫県	指定都市
生徒間暴力	83.1% (83.2%)	70.1% (67.0%)	76.4% (73.6%)	72.0% (67.7%)

(3) 今後の対応等

- ・学校だけで解決困難な事案には、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤー、警察等の関係機関の中から、事案に応じたメンバーで構成する学校サポートチームで問題解決に向けた検討や専門的、多面的な支援を行う。

2. いじめについて

(1) いじめの認知件数

	神戸市の発生件数	1,000 人あたりの発生件数			
		神戸市	全国	兵庫県	指定都市
小学校	3,844 (3,183)	50.6 (41.9)	66.0 (49.0)	40.5 (29.1)	—
中学校	1,638 (1,599)	47.6 (45.5)	29.8 (25.0)	32.8 (28.7)	—
高等学校	19 (16)	3.0 (2.5)	5.2 (4.9)	5.3 (4.8)	—
特別支援学校	7 (4)	6.4 (3.6)	19.0 (14.1)	20.9 (22.7)	—
合計	5,508 (4,802)	46.8 (40.5)	40.9 (33.9)	31.3 (24.0)	50.0 (40.0)

(2) いじめの解消状況

項目	神戸市	全国	兵庫県	指定都市
いじめが解消している	75.8% (97.1%)	84.3% (85.8%)	82.6% (89.0%)	88.1% (88.6%)

(3) いじめの発見のきっかけ

項目	神戸市	全国	兵庫県	指定都市
教職員が発見	31.0% (34.8%)	13.3% (13.6%)	20.9% (26.1%)	13.3% (13.5%)
当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	27.0% (27.2%)	10.3% (10.1%)	19.2% (20.2%)	12.5% (12.4%)
本人からの訴え	21.3% (23.2%)	18.2% (17.9%)	19.9% (19.5%)	19.1% (18.6%)
アンケート調査など学校の取組により発見	7.4% (1.7%)	53.0% (53.1%)	30.6% (24.7%)	49.9% (50.0%)

※「教職員が発見」は「学級担任が発見」「学級担任以外の教職員が発見」「養護教諭が発見」を合わせた数値

(4) いじめの態様

項目	神戸市	全国	兵庫県
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる	47.3% (45.9%)	62.7% (62.3%)	58.9% (59.9%)
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	27.3% (24.8%)	21.5% (21.2%)	22.1% (21.5%)

(5) いじめの児童生徒への特別な対応

項目	神戸市	全国	兵庫県
保護者への報告	87.4% (83.3%)	45.6% (46.3%)	74.5% (74.0%)
いじめられた児童生徒やその保護者に対する謝罪の指導	58.1% (58.2%)	43.7% (46.5%)	59.3% (58.2%)

(6) いじめられた児童生徒への特別な対応

項目	神戸市	全国	兵庫県
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施した	79.7% (81.9%)	11.4% (12.5%)	47.8% (52.4%)

(7) いじめの日常的な実態把握

項目	神戸市	全国	兵庫県
アンケート調査の実施	99.6% (99.2%)	99.8% (99.9%)	99.5% (99.5%)
家庭訪問	92.0% (89.0%)	69.1% (66.2%)	81.8% (76.1%)

(8) 今後の対応等

- ・神戸市教育委員会改革方針及び実施プログラムを踏まえ、いじめ防止対策推進法やガイドライン等の制度意義・要旨の理解を周知徹底する研修を継続していくとともに、いじめへの初期対応を含めた適時・適切な対応を図るため、事例を取り入れた実践的な研修を実施する。
- ・垂水区中学生自死事案の再調査報告書の提言を踏まえ、現時点で既に改善したものも含めた現在取り組んでいる施策の検証評価、提言を踏まえた今後取り組むべき施策をとりまとめる。また、それらも含めて総合教育会議において検証評価いただく。
- ・神戸市いじめ防止等のための基本的な方針や神戸市いじめ指導三原則「するを許さず されるを責めず 第三者なし」に基づき、さらにいじめの積極的な認知に努め、学校全体で組織的に未然防止、早期発見・早期対応を行う。

3. 長期欠席（不登校等）について

(1) 長期欠席の状況

	市の児童生徒数	病気	経済的理由	不登校	その他	長欠計
小学校	75,915 (76,011)	258 (347)	0 (0)	488 (397)	77 (131)	823 (875)
中学校	34,390 (35,167)	328 (429)	0 (0)	1,506 (1,334)	48 (62)	1,882 (1,825)
高等学校	6,242 (6,321)	19 (43)	0 (20)	113 (75)	0 (64)	132 (202)
合計	116,547 (117,499)	605 (819)	0 (20)	2,107 (1,806)	125 (257)	2,837 (2,902)

(2) 全児童生徒に占める不登校児童生徒数の割合

	神戸市	全国	兵庫県
小学校	0.64 (0.52)	0.70 (0.55)	0.65 (0.52)
中学校	4.38 (3.79)	3.81 (3.38)	4.30 (3.63)
合計	1.81 (1.56)	1.70 (1.51)	1.80 (1.37)

(3) 今後の対応等

- ・不登校の未然防止と家庭支援を一層図っていくとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携した児童生徒の悩みを受け止める校内相談体制の充実、不登校担当等の生徒指導関係教員への研修等を通じた生徒指導体制の充実を図る。

平成30年度 児童生徒の問題行動・不登校等の状況について〈詳細版〉

1 暴力行為の発生件数

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		指定都市		神戸市(公立)		29年度 神戸市(公立)	
	発生件数 (件)	1000人あたり (件)	発生件数 (件)	1000人あたり (件)	発生件数 (件)	1000人あたり (件)	発生件数 (件)	1000人あたり (件)	発生件数 (件)	1000人あたり (件)
小学校	35,910	5.7	902	3.1			404	5.3	358	4.7
中学校	28,062	9.3	987	7.4			480	14.0	610	17.3
高等学校	4,945	2.2	263	2.5			18	2.9	14	2.2
全体	68,917	5.9	2,152	4.1	16,423	8.1	902	7.7	982	8.4

2 暴力行為の内訳

(1) 全体

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		指定都市		神戸市(公立)		29年度 神戸市(公立)	
	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比
対教師暴力	8,961	13.0%	260	12.1%	1,913	11.6%	80	8.9%	75	7.6%
生徒間暴力	48,281	70.1%	1,645	76.4%	11,824	72.0%	750	83.1%	817	83.2%
対人暴力	1,202	1.7%	15	0.7%	338	2.1%	5	0.6%	7	0.7%
器物損壊	10,473	15.2%	232	10.8%	2,348	14.3%	67	7.4%	83	8.5%
計	68,917		2,152		16,423		902		982	

(2) 小学校

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		神戸市(公立)		29年度 神戸市(公立)	
	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比
対教師暴力	5,359	14.8%	123	13.6%	28	6.9%	29	8.1%
生徒間暴力	26,034	72.6%	705	78.2%	359	88.9%	307	85.8%
対人暴力	460	1.3%	2	0.2%	-	0.0%	-	0.0%
器物損壊	4,057	11.3%	72	8.0%	17	4.0%	22	6.1%
計	35,910		902		404		358	

(3) 中学校

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		神戸市(公立)		29年度 神戸市(公立)	
	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比
対教師暴力	3,225	11.5%	125	12.7%	50	10.4%	44	7.2%
生徒間暴力	19,099	68.1%	742	75.2%	375	78.1%	499	81.8%
対人暴力	585	2.1%	10	1.0%	5	1.0%	6	1.0%
器物損壊	5,153	18.4%	110	11.1%	50	10.4%	61	10.0%
計	28,062		987		480		610	

(4) 高等学校

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		神戸市(公立)		29年度 神戸市(公立)	
	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比
対教師暴力	377	7.6%	12	4.6%	2	11.1%	2	14.3%
生徒間暴力	3,148	63.7%	198	75.3%	16	88.9%	11	78.6%
対人暴力	157	3.2%	3	1.1%	-	0.0%	1	7.1%
器物損壊	1,263	25.5%	50	19.0%	-	0.0%	-	0.0%
計	4,945		263		18		14	

1 いじめの認知件数

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		指定都市		神戸市(公立)		29年度神戸市(公立)	
	認知件数 (件)	1000人あたり (件)	認知件数 (件)	1000人あたり (件)	認知件数 (件)	1000人あたり (件)	認知件数 (件)	1000人あたり (件)	認知件数 (件)	1000人あたり (件)
小学校	425,844	66.0	11,628	40.5			3,844	50.6	3,183	41.9
中学校	97,704	29.8	4,369	32.8			1,638	47.6	1,599	45.5
高等学校	17,709	5.2	567	5.3			19	3.0	16	2.5
特別支援学校	2,676	19.0	116	20.9			7	6.4	4	3.6
全体	543,933	40.9	16,680	31.3	102,306	50.0	5,508	46.8	4,802	40.5

2 いじめの解消状況

神戸市

区分	(1)解消しているもの		(2)解消に向けて取組み中		その他		計	29年度 (1)解消しているもの	
	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	件数	認知件数に 対する割合
小学校	2,829	73.6%	1,015	26.4%	0	0.0%	3,844	3,103	97.5%
中学校	1,320	80.6%	318	19.4%	0	0.0%	1,638	1,539	96.2%
高等学校	19	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	19	16	100.0%
特別支援学校	7	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	3	75.0%
全体	4,175	75.8%	1,333	24.2%	0	0.0%	5,508	4,661	97.1%

※「その他」とは、いじめの問題による就学校の指定変更、公立から市立、市立から公立などの転学や退学等、(1)(2)に該当しないもの。

指定都市

区分	(1)解消しているもの		(2)解消に向けて取組み中		その他		計
	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数
全体	90,100	88.1%	11,963	11.7%	243	0.2%	102,306

※「その他」とは、いじめの問題による就学校の指定変更、公立から市立、市立から公立などの転学や退学等、(1)(2)に該当しないもの。

兵庫県

区分	(1)解消しているもの		(2)解消に向けて取組み中		その他		計
	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数
小学校	9,502	81.7%	2,126	18.3%	0	0.0%	11,628
中学校	3,695	84.6%	673	15.4%	1	0.0%	4,369
高等学校	494	87.1%	73	12.9%	0	0.0%	567
特別支援学校	88	75.9%	28	24.1%	0	0.0%	116
全体	13,779	82.6%	2,900	17.4%	1	0.0%	16,680

※「その他」とは、いじめの問題による就学校の指定変更、公立から市立、市立から公立などの転学や退学等、(1)(2)に該当しないもの。

全国

区分	(1)解消しているもの		(2)解消に向けて取組み中		その他		計
	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数
小学校	356,653	84.7%	63,350	15.0%	1,113	0.3%	421,116
中学校	77,769	82.8%	15,875	16.9%	277	0.3%	93,921
高等学校	11139	84.8%	1,706	13.0%	289	2.2%	13,134
特別支援学校	2061	80.2%	475	18.5%	34	1.3%	2,570
全体	447,622	84.3%	81,406	15.3%	1,713	0.3%	530,741

※「その他」とは、いじめの問題による就学校の指定変更、公立から市立、市立から公立などの転学や退学等、(1)(2)に該当しないもの。

3 いじめ発見のきっかけ

区 分	全国		兵庫県		指定都市		神戸市		29年度 神戸市	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
①学級担任が発見	57,916	10.6%	2,354	14.1%	10,738	10.5%	1,066	19.4%	1,027	21.4%
②学級担任以外の教職員が発見 (養護教諭・スクールカウンセラー等の相談員を除く)	12,460	2.3%	1,029	6.2%	2,477	2.4%	605	11.0%	618	12.9%
③養護教諭が発見	2,123	0.4%	94	0.6%	359	0.4%	34	0.6%	25	0.5%
④スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	844	0.2%	17	0.1%	87	0.1%	0	0.0%	4	0.1%
⑤アンケート調査など学校の取組により発見	287,000	52.8%	5,109	30.6%	51,051	49.9%	406	7.4%	82	1.7%
⑥本人からの訴え	99,417	18.3%	3,323	19.9%	19,547	19.1%	1,173	21.3%	1,114	23.2%
⑦当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え	56,481	10.4%	3,201	19.2%	12,818	12.5%	1,486	27.0%	1,305	27.2%
⑧児童生徒(本人を除く)からの情報	18,990	3.5%	995	6.0%	3,388	3.3%	460	8.4%	372	7.7%
⑨保護者(本人の保護者を除く)からの情報	7,052	1.3%	468	2.8%	1,561	1.5%	229	4.2%	213	4.4%
⑩地域の住民からの情報	431	0.1%	26	0.2%	79	0.1%	13	0.2%	17	0.4%
⑪学校以外の関係機関(相談機関を含む)からの情報	780	0.1%	57	0.3%	137	0.1%	32	0.6%	20	0.4%
⑫その他(匿名による投書など)	439	0.1%	7	0.0%	64	0.1%	4	0.1%	5	0.1%

(注)構成比は、各区分における認知件数に対する割合

4 いじめの態様 ※複数回答

区 分	全国		兵庫県		神戸市		29年度 神戸市	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
①冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる。	333,022	62.7%	9,818	58.9%	2,606	47.3%	2,204	45.9%
②仲間はずれ、集団による無視をされる。	71,951	13.6%	1,899	11.4%	379	6.9%	358	7.5%
③軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	114,148	21.5%	3,679	22.1%	1,503	27.3%	1,189	24.8%
④ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	29,385	5.5%	1,420	8.5%	835	15.2%	729	15.2%
⑤金品をたかられる。	5,472	1.0%	173	1.0%	73	1.3%	63	1.3%
⑥金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	29,145	5.5%	943	5.7%	364	6.6%	334	7.0%
⑦いやなことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	41,255	7.8%	1,646	9.9%	737	13.4%	634	13.2%
⑧パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	14,989	2.8%	734	4.4%	209	3.8%	196	4.1%
⑨その他	22,628	4.3%	433	2.6%	161	2.9%	141	2.9%

(注)構成比は、各区分における認知件数に対する割合

5 いじめる児童生徒への特別な対応 ※複数回答

区 分	全国		兵庫県		神戸市		29年度 神戸市		
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	
①スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行う。	9,271	1.7%	239	1.4%	24	0.4%	27	0.6%	
②校長, 教頭が指導した。	25,079	4.7%	715	4.3%	55	1.0%	115	2.4%	
③別室指導した。	59,205	11.2%	3,065	18.4%	1,176	21.4%	1,109	23.1%	
④学級替えをした。	397	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
退学・転学	⑤懲戒処分としての退学	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	⑥その他	229	0.0%	8	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
⑦停学	340	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑧出席停止	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑨自宅学習・自宅謹慎	950	0.2%	86	0.5%	6	0.1%	10	0.2%	
⑩訓告	255	0.0%	7	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑪保護者への報告	242,223	45.6%	12,420	74.5%	4,816	87.4%	3,999	83.3%	
⑫いじめられた児童生徒やその保護者に対する謝罪の指導	232,017	43.7%	9,885	59.3%	3,198	58.1%	2,795	58.2%	
⑬関係機関等との連携	ア 警察等の刑事司法機関等との連携	1,158	0.2%	40	0.2%	17	0.3%	66	1.4%
	イ 児童相談所等の福祉機関等との連携	809	0.2%	21	0.1%	7	0.1%	10	0.2%
	ウ 病院等の医療機関等との連携	681	0.1%	22	0.1%	7	0.1%	0	0.0%
	エ その他の専門的な関係機関等との連携	1,323	0.2%	31	0.2%	11	0.2%	36	0.7%
	オ 地域の人材や団体等との連携	534	0.1%	15	0.1%	7	0.1%	6	0.1%
計	574,472	108.2%	26,554	153.2%	9,324	169.3%	8,174	170.2%	

(注)構成比は、各区分における認知件数に対する割合

6 いじめられた児童生徒への特別な対応 ※複数回答

区 分	全国		兵庫県		神戸市		29年度 神戸市	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
①スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行った。	16,265	3.1%	456	2.7%	61	1.1%	82	1.7%
②別室を提供したり, 常時教職員が付くなどして心身の安全を確保したりした。	20,481	3.9%	892	5.3%	248	4.5%	164	3.4%
③緊急避難として欠席させた。	793	0.1%	21	0.1%	2	0.0%	7	0.1%
④学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施した。	60,641	11.4%	7,977	47.8%	4,390	79.7%	3,932	81.9%
⑤学級替えをした。	493	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥当該いじめについて, 教育委員会と連携して対応した。	15,921	3.0%	793	4.8%	43	0.8%	55	1.1%
⑦児童相談所等の関係機関と連携して対応した。(サポートチームなども含む。)	1,811	0.3%	117	0.7%	4	0.1%	13	0.3%
計	116,405	21.9%	10,256	61.4%	4,748	86.2%	4,253	88.6%

(注)構成比は、各区分における認知件数に対する割合

7 学校におけるいじめの問題に対する日常の取組 ※複数回答

区 分	全国		兵庫県		神戸市		29年度 神戸市	
	学校数	構成比	学校数	構成比	学校数	構成比	学校数	構成比
①-1職員会議棟を通じて、いじめの問題について教職員間で共通理解を図った。	33,748	98.1%	1,309	100.0%	264	100.0%	264	100.0%
①-2いじめ問題に関する校内研修会を実施した。	29,038	84.4%	1,309	100.0%	264	100.0%	264	100.0%
② 道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った。	31,825	92.5%	1,233	94.2%	264	100.0%	256	97.0%
③ 児童・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、児童・生徒同士の人間関係や仲間作りを促進したりした。	28,099	81.7%	1,185	90.5%	261	98.9%	229	86.7%
④ スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して教育相談体制の充実を図った。	30,837	89.6%	1,155	88.2%	184	69.7%	219	83.0%
⑤ 教育相談の実施について、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った。	27,786	80.8%	921	70.4%	133	50.4%	148	56.1%
⑥ 学校いじめ防止基本方針をホームページに公表するなど、保護者や地域住民に周知し、理解を得るよう努めた。	30,271	88.0%	1,308	99.9%	264	100.0%	264	100.0%
⑦ PTAなど地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた。	16,510	48.0%	602	46.0%	118	44.7%	136	51.5%
⑧ いじめの問題に対し、警察署や児童相談所など地域の関係機関と連携協力した対応を図った。	12,392	36.0%	475	36.3%	84	31.8%	92	34.8%
⑨ インターネットを通じて行われるいじめの防止及び効果的な対処のための啓発活動を実施した。	28,858	83.9%	1,113	85.0%	179	67.8%	209	79.2%
⑩ 学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して機能しているか点検し、必要に応じて見直しを行った。	31,637	92.0%	1,309	100.0%	264	100.0%	264	100.0%
⑪ 学校いじめ防止基本方針に定めたとおり、いじめ防止等の対策のための組織を招集した。	30,986	90.1%	1,275	97.4%	262	99.2%	264	100.0%

(注1)いじめを認知していない学校も含まれる

(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合

8 いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に行った具体的な方法 ※複数回答

区 分	全国		兵庫県		指定都市		神戸市		29年度 神戸市		
	学校数	構成比	学校数	構成比	件数	構成比	学校数	構成比	学校数	構成比	
(1)アンケート調査の実施	28,546	99.8%	1,302	99.5%	4,486	99.4%	263	99.6%	262	99.2%	
① 実施頻度	ア 年1回	474	1.7%	6	0.5%			4	1.5%	0	0.0%
	イ 年2～3回	16,901	59.1%	1,028	78.5%			243	92.0%	247	93.6%
	ウ 年4回以上	11,101	38.8%	268	20.5%			16	6.1%	15	5.7%
② 調査方法	ア 記名式	21,289	74.5%	1,024	78.2%			221	83.7%	217	82.2%
	イ 無記名式	8,084	28.1%	300	22.9%			30	11.4%	29	11.0%
	ウ 記名・無記名の選択式	3,364	11.8%	88	6.7%			17	6.4%	21	8.0%
③ 回答方法	ア 選択式(学校で記入)	21,517	75.3%	986	75.3%			219	83.0%	198	75.0%
	イ 選択式(持ち帰って記入)	2,834	9.9%	153	11.7%			9	3.4%	13	4.9%
	ウ 記述式(学校で記入)	16,674	58.3%	653	49.9%			144	54.5%	145	54.9%
	エ 記述式(持ち帰って記入)	2,601	9.1%	118	9.0%			10	3.8%	14	5.3%
(2)個別面談の実施	26,829	93.8%	1,174	89.7%			222	84.1%	226	85.6%	
(3)「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童生徒との間で日常的に行われている日記等	15,712	55.0%	799	61.0%			170	64.4%	178	67.4%	
(4)家庭訪問	19,765	69.1%	1,071	81.8%			243	92.0%	235	89.0%	
(5)その他	1,893	6.6%	58	4.4%			17	6.4%	14	5.3%	

(注1)いじめを認知していない学校も含まれる

(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合

9 警察に相談・通報した件数

	全国			兵庫県			神戸市			29年度 神戸市		
	相談通報 件数	認知件数に 占める割合	認知件数	相談通報 件数	認知件数に 占める割合	認知件数	相談通報 件数	認知件数に 占める割合	認知件数	相談通報 件数	認知件数に 占める割合	認知件数
小学校	361	0.1%	421,116	16	0.1%	11,628	7	0.2%	3,844	40	1.3%	3,183
中学校	547	0.6%	93,921	20	0.5%	4,369	7	0.4%	1,638	14	0.9%	1,599
高等学校	183	1.4%	13,134	15	2.6%	567	1	5.3%	19	1	6.3%	16
特別支援学校	33	1.3%	2,570	0	0.0%	116	0	0.0%	7	0	0.0%	4
全体	1,124	0.2%	530,741	51	0.3%	16,680	15	0.3%	5,508	55	1.1%	4,802

10 「地方いじめ防止基本方針」を策定した自治体(市町村)

	全国		兵庫県		指定都市		神戸市	
	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合
策定済	1,633	93.7%	39	95.1%	20	100.0%	1	100.0%

11 「いじめ問題対策連絡協議会」を設置した自治体(都道府県・指定都市)

	全国		兵庫県		指定都市		神戸市	
	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合
設置済	47	100.0%	1	100.0%	20	100.0%	1	100.0%

12 条例により、「重大事態」の調査又は再調査を行うための機関を設置した自治体(市町村)

	全国		兵庫県		指定都市		神戸市	
	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合
教育委員会の 附属機関	1,169	67.0%	29	70.7%	18	90.0%	1	100.0%
地方公共団体の 長の附属機関	979	56.2%	24	58.5%	16	80.0%	1	100.0%

※文部科学省公表データでは「地方公共団体の長の附属機関」が0となっているが、実際には平成30年7月に設置された「神戸市いじめ問題再調査委員会」を1として記載。

【参考】3長期欠席(不登校等)について

(1)神戸市の長期欠席の状況

学校種	在籍児童 生徒数	病気	経済的 理由	不登校	その他	計(長欠)
小学校	75,915 (76,011)	258 (347)	0 (0)	488 (397)	77 (131)	823 (875)
中学校	34,390 (35,167)	328 (429)	0 (0)	1,506 (1,334)	48 (62)	1,882 (1,825)
高等学校	6,242 (6,321)	19 (43)	0 (20)	113 (75)	0 (64)	132 (202)
合計	116,547 (117,499)	605 (819)	0 (20)	2,107 (1,806)	125 (257)	2,837 (2,902)

※下段()は平成29年度

<p>※ 長期欠席とは、年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒</p> <p>①「病気」とは、本人の心身の故障等(けがを含む。)により、入院、通院、自宅療養等のため、長期欠席した者</p> <p>②「経済的理由」とは、家計が苦しく教育費が出せない、児童生徒が働いて家計を助けなければならない等の理由で長期欠席した者</p> <p>③「不登校」とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある者 (ただし、「病気」や「経済的理由」による者を除く。)</p> <p>④「その他」の欄には上記「病気」、「経済的理由」、「不登校」のいずれにも該当しない理由により長期欠席し者。 *「その他」の具体例 ア 保護者の教育に関する考え方、無理解・無関心、家族の介護、家事手伝いなどの家庭の事情から長期欠席している者 イ 外国での長期滞在、国内・外への旅行のため、長期欠席している者 ウ 連絡先が不明なまま長期欠席している者</p>

(2) 不登校児童生徒数

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		指定都市		神戸市(公立)		29年度神戸市(公立)	
	人数	1000人あたり (人)	人数	1000人あたり (人)	人数	1000人あたり (人)	人数	1000人あたり (人)	人数	1000人あたり (人)
小学校	44,471	7.0	1,873	6.5	9,888	7.3	488	6.4	397	5.2
中学校	114,379	38.1	5,736	43.0	24,914	41.1	1,506	43.8	1,334	37.9

(3) 不登校の要因(国・県との比較) ①小学校

全国

学校、家庭に係る要因 (要因) 区 本人に係る要因 (分類)	分類別児童数	割合	学校に係る状況								家庭に係る状況
			いじめ	いじめを除く友人関係の問題	教職員との関係の問題	学業の不振	進路に係る不安	等々への不適応、部活動	学校のきまり等に関する問題	入学、転編入学、進	
「学校における人間関係」に課題を抱えている。	6,170	13.9%	252	4,121	1,003	505	68	15	147	239	1,463
「あそび・非行」の傾向がある。	493	1.1%	0	47	14	79	4	0	33	10	393
「無気力」の傾向がある。	11,895	26.7%	12	898	193	2,610	96	24	278	320	8,358
「不安」の傾向がある。	15,942	35.8%	60	4,097	612	2,832	270	56	528	1,153	7,271
「その他」	9,971	22.4%	14	482	148	735	39	4	149	276	7,278
計	44,471	100.0%	338	9,645	1,970	6,761	477	99	1,135	1,998	24,763

兵庫県

学校、家庭に係る要因 (要因) 区 本人に係る要因 (分類)	分類別児童数	割合	学校に係る状況								家庭に係る状況
			いじめ	いじめを除く友人関係の問題	教職員との関係の問題	学業の不振	進路に係る不安	等々への不適応、部活動	学校のきまり等に関する問題	入学、転編入学、進	
「学校における人間関係」に課題を抱えている。	228	12.2%	5	145	38	12	4	0	8	3	59
「あそび・非行」の傾向がある。	19	1.0%	0	2	0	6	0	0	0	0	16
「無気力」の傾向がある。	573	30.6%	0	43	16	117	2	0	14	13	410
「不安」の傾向がある。	697	37.2%	0	191	25	113	9	0	46	39	340
「その他」	356	19.0%	0	17	8	24	3	0	4	7	298
計	1,873	100.0%	5	398	87	272	18	0	72	62	1,123

神戸市

学校、家庭に係る要因 (要因) 区 本人に係る要因 (分類)	分類別児童数	割合	学校に係る状況								家庭に係る状況
			いじめ	いじめを除く友人関係の問題	教職員との関係の問題	学業の不振	進路に係る不安	等々への不適応、部活動	学校のきまり等に関する問題	入学、転編入学、進	
「学校における人間関係」に課題を抱えている。	65	13.3%	1	32	11	7	1	0	2	2	29
「あそび・非行」の傾向がある。	4	0.8%	0	1	0	1	0	0	0	0	4
「無気力」の傾向がある。	160	32.8%	0	13	4	36	1	0	3	5	126
「不安」の傾向がある。	172	35.2%	0	35	10	35	2	0	13	14	96
「その他」	87	17.8%	0	8	4	7	3	0	3	0	75
計	488	100.0%	1	89	29	86	7	0	21	21	330

(注1) 「本人に係る要因(分類)」については、「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した児童生徒全員につき、主たる要因一つを選択。二つ以上の要因があり、いずれが主であるかを決め難い場合は、分類欄のより上段のものから選択。「その他」とは、本人や保護者と話をしても他の分類のような傾向が見えず、理由がはっきりしないものが該当する。

(注2) 「学校、家庭に係る要因(区分)」については、複数回答可。「本人に係る要因(分類)」で回答した要因の理由として考えられるものを「学校に係る状況」「家庭に係る状況」より全て選択。なお、学校及び家庭に係る状況に当てはまるものがない場合は、回答していない。

(注3) 「家庭に係る状況」とは、家庭の生活環境の急激な変化、親子関係をめぐる問題、家庭内の不和等が該当する。

(3) 不登校の要因(国・県との比較) ②中学校

全国

学校、家庭に係る要因 (要因) 区 本人に係る要因 (分類)	分類別児童数	割合	学校に係る状況								家庭に係る状況
			いじめ	をいじめを除く友人関係	る教職員との関係をめぐ	学業の不振	進路に係る不安	へのクラブ活動、部活動等	る学校のきまり等をめぐ	時の入学、転編入学、進級	
「学校における人間関係」に課題を抱えている。	21,145	18.5%	438	15,727	1301	2,311	478	1022	381	1,178	2,690
「あそび・非行」の傾向がある。	4,633	4.1%	4	443	168	1,313	145	56	1,317	115	2,372
「無気力」の傾向がある。	34,974	30.6%	43	4,393	442	12,477	1,774	737	1,200	2,318	13,705
「不安」の傾向がある。	36,781	32.2%	80	12,281	779	9,323	3,121	1013	690	3,901	9,509
「その他」	16,846	14.7%	28	1,803	239	2,132	523	228	375	1098	7,638
計	114,379	100.0%	593	34,647	2,929	27,556	6,041	3,056	3,963	8,610	35,914

兵庫県

学校、家庭に係る要因 (要因) 区 本人に係る要因 (分類)	分類別児童数	割合	学校に係る状況								家庭に係る状況
			いじめ	をいじめを除く友人関係	る教職員との関係をめぐ	学業の不振	進路に係る不安	へのクラブ活動、部活動等	る学校のきまり等をめぐ	時の入学、転編入学、進級	
「学校における人間関係」に課題を抱えている。	856	14.9%	4	607	50	88	27	54	31	66	84
「あそび・非行」の傾向がある。	211	3.7%	0	23	6	56	4	4	64	3	103
「無気力」の傾向がある。	1,877	32.7%	0	189	24	646	86	46	96	158	726
「不安」の傾向がある。	2,044	35.6%	1	544	49	591	199	59	58	158	533
「その他」	748	13.0%	0	94	8	92	18	10	14	60	354
計	5,736	100.0%	5	1,457	137	1,473	334	173	263	445	1,800

神戸市

学校、家庭に係る要因 (要因) 区 本人に係る要因 (分類)	分類別児童数	割合	学校に係る状況								家庭に係る状況
			いじめ	をいじめを除く友人関係	る教職員との関係をめぐ	学業の不振	進路に係る不安	へのクラブ活動、部活動等	る学校のきまり等をめぐ	時の入学、転編入学、進級	
「学校における人間関係」に課題を抱えている。	248	16.5%	1	189	21	47	13	17	12	14	25
「あそび・非行」の傾向がある。	52	3.5%	0	6	1	20	1	2	13	0	36
「無気力」の傾向がある。	513	34.1%	0	85	11	214	30	19	34	50	215
「不安」の傾向がある。	494	32.8%	0	163	18	173	57	22	19	57	154
「その他」	199	13.2%	0	24	2	23	4	5	7	10	130
計	1,506	100.0%	1	467	53	477	105	65	85	131	560

(注1) 「本人に係る要因(分類)」については、「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した児童生徒全員につき、主たる要因一つを選択。二つ以上の要因があり、いずれが主であるかを決め難い場合は、分類欄のより上段のものから選択。「その他」とは、本人や保護者と話をしても他の分類のような傾向が見えず、理由がはっきりしないものが該当する。

(注2) 「学校、家庭に係る要因(区分)」については、複数回答可。「本人に係る要因(分類)」で回答した要因の理由として考えられるものを「学校に係る状況」「家庭に係る状況」より全て選択。なお、学校及び家庭に係る状況に当てはまるものがない場合は、回答していない。

(注3) 「家庭に係る状況」とは、家庭の生活環境の急激な変化、親子関係をめぐる問題、家庭内の不和等が該当する。